



## 使用方法

1. 梱包を開き、付属品の確認をしてください。
2. 本体架台を水平な台の上に置き、L形支柱をL形受けに差込みます。ガラス缶体の右側を片手で支え、接続ジョイントと本体を接続し、ジョイント取付ネジを回して固定します。
3. L形支柱を左にずらし、ガラス缶体シャフトを差込みます。缶体が水平になるようにL形支柱を支えながらL形固定ネジを回して固定します。
4. 電源コネクタに電源コードを接続し、コードを電源コンセント（100V）に差し込みます。
5. 電源スイッチをONにし、ガラス缶体を回転させます。缶体用ガラス蓋が上を向いた位置で電源スイッチをOFFにし、停止させます。
6. 缶体用ガラス蓋を取り外し、粉体試料を容量の少ない順に投入します。この時試料が缶体の片側に偏ることのないよう水平に積み上げるように投入します。投入後スプリングをかけ、缶体の蓋をセットします。
7. 電源スイッチをONにし、ガラス缶体を回転させます。缶体容量、試料の特性により運転時間を決めます。
8. 外部より混合状態を観察しながら混合し、時々停止させ混合する粉体試料に適正な混合条件を決定します。
9. 混合が良好であれば缶体の蓋が上を向いた状態で回転を止めます。L形固定ネジとジョイント取付ネジを緩め、ガラス缶体を片手で支えながらL字支柱を右にずらし、本体より接続ジョイントを取り外します。
10. ガラス缶体の蓋を取り外し、試料をバット等の容器に静かに取り出します。
11. 同じ試料を続けて混合する場合はそのまま上記の取り扱い手順で再度行って下さい。また、異なる試料を混合する場合はガラス缶体全体を水で良く洗浄し、十分に乾燥させてからご使用下さい。

## 備 考

1. 缶体の仕込混合量は容積です。重量で量る場合は試料の比重は1.00(g/ml)で計算して下さい
2. 比重の重い試料は缶体の容積及び仕込重量にご注意下さい。（最高混合量は容積で20ml、重量で20gです）
3. 二種の粉体試料の場合（一例） 混合比 50：50 の時  
粒度 300 $\mu$ m～106 $\mu$ m・・・総回転数 200～250回転  
106 $\mu$ m～45 $\mu$ m・・・総回転数 1000～1200回転  
で完全混合に近いとされていますが、混合量、粒度、混合比、比重、含水量な

ど粉体特性により回転速度、総回転数は変わります、外部から観察し、混合度の測定（光学、物理、化学的方法）を行い決定して下さい。

### ご注意

- ※ 容器の容量にかかわらず混合する試料の合計重量は 20g 以上を超えないようにして下さい。（故障の原因となります）
- ※ 本体のプレートに記入されている電源電圧をご確認下さい。
- ※ 設置場所は、周囲の温度が 40℃、湿度が 90%を超えないようにして下さい。
- ※ 本体には水、溶媒等がかからないように御注意下さい。（故障の原因となります）

### 内蔵ヒューズの交換方法

本製品は過負荷等により過電流が流れると内蔵されているヒューズが切れ電源が遮断されます。原因（混合重量の過重量、モーターの不良による過電流、その他電装品の接触不良等）を確かめ、特に原因が無ければ内蔵されているヒューズ（1A）を以下の手順に沿って交換して下さい。

- (1) 電源スイッチを OFF にし、電源コードを取り外します。前面下部のヒューズキャップを回して取り外します。
- (2) ヒューズを取出し断線しているか確認し、断線している場合は新しいヒューズと交換して下さい。ヒューズが断線していない場合はモーターやスイッチなど他の電装部品の異常が考えられます。弊社または購入代理店にご連絡下さい。
- (3) ヒューズの交換が完了したら再度電源スイッチを ON にし、正常に回転するかご確認下さい。